

令和5年度（2023年度）学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 健やかな身体を育み、自他の人格を尊重し、人間としての在り方・生き方を自覚する。
- (2) 幅広い知識と教養を身に付け、自ら進んで問題を解決し、社会の変化に対応する。
- (3) 目指すべき進路を見据え職業観を形成し、よりよい社会の発展に寄与する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C T を効果的に活用した授業改善が急務である。 ・ 観点別学習状況評価の充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の共通理解のもと、教育課程の一層の改善・充実を進めてもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善に係る教職員の意識改革および資質・能力の向上を図る。 ・ 授業改善および観点別評価について一層の充実を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複眼的な広い視野からの生徒理解および S C を活用した専門的生徒理解を深め、寄り添う生徒指導を一層推進することが必要である。 ・ 夏の暑さ対策に係る校則の積極的な見直しが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な生徒が入学し、多くの教員が入れ替わってきている状況がある。 ・ 生徒の声に耳を傾け、対話を通して教職員が一丸となって基本的生活習慣の指導等は継承するべきである。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育委員会の機能を十分に活かし、多様な悩みを抱える生徒や長期欠席・欠席過多の生徒への対応について一層の組織化と充実を図るとともに、基本的生活習慣の指導について教職員が共通理解を図り指導に当たる。 ・ 夏の暑さ対策は、他分掌や年次と連携して臨機応変に対応する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての生徒に焦点をあてた指導（習熟度別講習等）が、それぞれを伸ばすことにつながる。 ・ 年々変化する入試制度に対応した進路指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の質が変わってきている中、習熟度別授業や講習の充実を図り、公教育としてすべての生徒に焦点を当てる必要がある。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒や保護者との面談を通して、よりきめ細かな生徒の進路希望の実現を図る。 ・ 習熟度別授業や個人面談の充実を図り、多様化する進路希望の実現に向けて取り組む。 	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ W e b ページの魅力化および積極的な情報発信により、地域の学校としての P R や説明責任を果たしていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価のアンケート項目について、保護者にはわかりにくいものがある。 ・ 施設設備について公立学校間で格差がある。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の主体的な取組や活動を通して学校 P R の工夫と改善を図る。 ・ 創立50周年を迎え、学校の方向性を維持しつつ今後を見据えて対応していく。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 役員会、学校評議員会において説明した。 ・ 保護者・地域には概要を学校だよりを通じて示した。 ・ 外部には本校ホームページ上に掲載した。 	